

創立20周年記念式典

新しい20年に向って飛躍を期す

学校法人聖隸学園
創立20周年記念式典



▲聖書朗読。建学の精神をふり返る。



▲アトラクション。吹奏楽部の演奏。



▲熱戦をくり広げた男子バレー部。



▲悪天候の中、名門藤枝東と引き分けたサッカー部。

▶会場を埋めつくした約二千五百名余の参列者。



聖隸学園理事長
長谷川 保

新しい20年へ聖隸学園の飛躍用意はよいか

生憎の雨天にもかかわらず、内外より約二千五百名余の参列者を得、盛大な記念式典であった。前奏、讃美歌合唱、聖書朗読、祈禱に続き、記念講話、功労表彰、各界よりの祝辞等、そして讃美歌にて終わるという、キリスト教学校にふさわしい厳かな式典であった。式典後、引き続きアトラクション、招待試合が行なわれた。招待試合の結果は次のとおり。

静岡大学	0	3—15
藤枝東高校	1	前1—0
サッカー部	0	4—15
湖東高校	0	5—15
バレーボー	2	10—15
聖隸高校	1	1—1
サッカー部	1	1

対静岡高校硬式テニス部の試合は雨天の為残念ながら中止となった。盛大な応援の中、のびのびしたプレーが印象的であった。

聖隸学園理事長

式典を終えて

学校法人聖隸学園設立二十周年記念会に一千人もの方々が御祝いにお出下さったことは、私共に大きな勇気と感謝と使命感を与えた。

した。

聖隸学園が、日本全土はもとより全世界に仕える神様からの御使命を果すために、今、神様は人智を超えた様々な準備をして居られる様に思います。第一は日本の新しい看護教育制度です。現在聖路加看護大学長日野原先生を委員長として、厚生省で検討されている看護教育制度で、現在聖路加看護大学長日野原先生を委員長として、厚生省で検討されますが、多分、四年制大学教育が基本になるでしょう。これと符節を合せたように厚生省は、国立病院の移譲を言い出し、私も二ヶ月を費やして全国を馳せ廻り四十餘の国立病院を見て参りました。これが、三年後に恐らく四年制聖隸看護大学実現と深く係り合って来るでしょう。既に昨年四月から発足している日本救急医療ヘリコプターの基地のネットを作り、山村僻地離島と主要幹線道路における交通事故死を現在の五分の一にする大事業を展開する政策を進

めることになり、各政党もこれを

積極的に進める事になったので、

聖隸看護大学は、これに要するフ

ラインナースや救急ナース等の

教育に飛躍的な大展開をする必要

があります。聖隸高校もまた、こ

れに応じて毎々六年制又は七年制

看護一貫教育を実現する用意が熟

しつつあり、既に看護進学コース

が躍進的増加をしています。マザーテレサや俵ネバール看護大学教授

等々の来訪を機にアジアの開発途

上国への奉仕活動の動きも急速に

活発化し、最近五名の看護学生が

タイその他の見学に行く所、キヤ

マスを始め米国との交流も日々進

展しています。新しい二十年に向

て、聖隸学園卒業生が国民の幸せ

と人類の幸せと平和のために大活

躍をする幻が与えられているので

あります。

記念事業実行委員会を構成し学園正

記念会に二十周年の歩みと展望

した。

聖隸学園卒業生が国民の幸せ

と人類の幸せと平和のために大活

躍をする幻が与えられているので

あります。

記念事業実行委員会を構成し学園正</p

学園の功労者を表彰

功労者からひとこと

学園の想い出
ナイチングール
研究のことなど

今号では、功労表彰を受けられ
た方々にひとこといただきました。



菅野 保次

私は家が貧しかったので、中学校に行けず、小学校の高等科に進み、卒業後母校の代用教員に採用され、三年あまり教壇に立った。今年の高校生と同じ年輩、初めの二年間に検定試験で、教員の資格を取ってはいたが、遊びたい盛りの年頃である。大変な先生だったと

超えた頃から次第に視力を失い、遂には失明した。三十歳代にクリミヤ戦争に従軍して、苛酷な勤労に従つたため体力を消耗し切って

その朝、夜來の雨は明け方一層激しくなった。浅い眠りの中で、「さて、どんな顔で式典に臨むか?」表彰を受けるということに心立ちたいといふ平凡で平安な気持ちはひたついた矢先でもあり、退して五年、今ようやく学園を心から愛しきれからもささやかにも

おられるのに」との重い心でこだわり続けていた。というのも私ごとで恐縮であるが「現役を引退して五年、今ようやく学園を心から愛しきれからもささやかにも

おられたのです。

聖隸学園創立二十周年記念式典

の日の数日後、第一校舎のまわり

を歩いて見た。第二昇降口とそ

の西側の一部である。東の端は最初

の正面玄関のあった所、定礎式の

日に聖書と准看護学園卒業生の名

簿が地中に納められたのはどの辺

であつたろうか。この土には遠

州基督学園以来の尊い「一粒の麦」

たちが鋤き込まれている。この土

の上に生み出された聖隸学園に

仕えるどころか受け取るのみ多かつ

た私が功労表彰などを受けてよかつ

たのであるうか。

聖隸学園はその前身から種々の

物を受け継いだ。木製の机や椅子、

真鍮の振鈴から校舎や寮舎までの

腰を下ろしながら歩ふと、この体育

館の建設時(十年前)を想起し、

懐が熱くなってきた。オルガンの

前奏が流れ始めた頃から外の嵐も

会場のざわめきも一切が吸い込ま

人々の心も一つのものに溶まさ

れていくようと思えた。この式典

のハイライトは何といつても理事

長の記念講演にあつた。あの凛々

としたお声。あの説得力と迫力は、

人々の心も一つのものに溶まさ

教職員人事

数 字 で 見 る 学 園 の 現 況

学園のスケジュール

() は日

● 教職員数

●学生・生徒数 (5月1日現在)

教員	事務職員	高 校			聖 隸 短 大			聖泉短大						
		国際	進学	普通	I科	II科	専攻科	～レバ～	英語科	商経科				
高校	38	25	9	男	11	20	112	10	4	0	1	4	36	
				女	24	69	70	112	99	20	17	54	64	
聖隸短大 専攻科 ヘルパー	53	63	11	男	11	18	74	10	3	/				
				女	21	74	96	125	75	/				
聖泉短大	26	/	9	男	10	15	69	5	/					
				女	15	67	87	100	/					
合計		117	88	29	合計	92	263	508	362	181	20	18	58	100

● 昭和60年3月実施
国家試験結果

● 昭和60年3月卒業生就職状況(短大)

科別	受験者数	合格者数	実習施設		県外	進学	その他	計
			聖隸浜 松病院	聖隸三方 原病院				
I 科	105	104						
II 科	61	61						
合 計	166	165						
専攻科	16	16						

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
法人	・創立20周年記念式典(25) ・理事会・評議員会(30)		・キャマス高校生他27名来園(25~8/10)	・学園一斉休暇(12~17) ・学園夏期研修会(28)		
高校	・第5回米国研修旅行 ・始業式礼拝(8) ・入学式(9) ・父母の会総会(27)	・憲法講話(1) ・強歩遠足(2) ・中間テスト(29~31)	・中高連絡会(11~15) ・文化祭(22) ・企業見学会(27) ・地区懇談会(30~7/6) ・期末テスト(10~12) ・球技大会(17) ・終業式礼拝(20) ・集中作業(22~24) ・夏休み(21~8/31)	・登校日(7) ・登校日(19) ・教員研修会(29)	・始業式礼拝(2) ・献血(10)	・体育祭(3) ・演劇教室 ・中間テスト(8~11)2年 ・〃(15~17)3年 ・研修旅行(15~18) ・収穫感謝祭(30)
聖隸短大	・在学生ガイドanson(1) ・入学式(2) ・前始業(3) ・新入生ガイドanson(3~6)	・ナイトингール祭(7~11) ・西部看護学校親善バレーボール大会(18)3位	・公開講座「家庭看護」開講(6)	・公開講座「家庭看護」修了(7) ・前期試験(20~26)	・夏休み(7/29~9/7) ・専攻科夏休み(7/22~8/17) ・教員研修会(29)	・追再試験(2~5) ・第16回衛短祭(22~23) ・防災訓練(24) ・球技大会(25~26)
ヘルパー学園	・第15回(春季)生入学式(1) ・入学オリエンテーション・泊研修(2~3)			・夏休み(7/29~8/17)	・秋季生願書受付(8/19~9/12)	・秋季生入学式(1) ・入学オリエンテーション(2~3) 一泊研修
聖泉短大	・入学式(10) ・前始業(15) ・開学式(17)			・前期試験(8~13) ・研修旅行(7/14~8/6) ・夏休み(7/15~9/14)	・レビューコース(7~21) ・球技大会(24~28) ・後期始業(30)	

昭和60年度消費収支予算書

{自 昭和60年4月1日 至 昭和61年3月31日 }
(単位:千円)

消 費 支 出				消 費 収 入				
科 目	法 人	聖隸短大	高 校	科 目	法 人	聖隸短大	高 校	
人 件 費	3,000	288,115	207,900	215,114	714,129	学生・生徒等納付金	0	324,352
教 育 研 究 斧 費	2,000	84,808	48,450	92,727	227,985	手 数 料	0	3,000
管 理 斧 費	21,000	9,020	9,900	6,565	46,485	寄 付 金	0	6,480
借 入 金 等返済利息	0	4,694	7,000	51,407	63,101	補 助 金	0	100,000
本 部 費	0	10,000	6,000	10,000	26,000	資 産 用 収 入	0	5,900
予 備 費	0	3,000	1,500	2,000	6,500	雑 収 入	26,000	500
						雇 属 収 入計	26,000	440,232
消 費 支 出 計	26,000	399,637	280,750	377,813	1,084,200	基 本 企 組 入 額	0	△ 22,431
消 費 収 入 計	0	18,164	△ 172,850	△ 210,023	△ 364,709	消 費 収 入 計	26,000	△ 417,801
						高 校	107,900	167,790
						聖隸短大	110,600	238,140
						法 人	324,352	673,092

昭和59年度消費収支計算書

〔自昭和59年4月1日〕
〔至昭和60年3月31日〕
〔単位：千円〕

消 費 支 出					消 費 収 入				
科 目	法 人	聖 錄 短 大	高 校	計	科 目	法 人	聖 錄 短 大	高 校	計
人 件 費	24,731	282,103	185,512	492,346	学 生・生徒等納付金	0	264,943	195,254	460,197
教 育 研 究 費	1,570	67,516	70,494	139,580	手 數 料	4,440	8,891	4,260	17,591
管 理 経 費	31,355	9,747	7,099	48,201	寄 付 金	1,000	1,256	982	3,238
借 入 金 等返 済 利 息	3,077	5,590	13,907	22,574	補 助 金	460,000	111,572	112,464	684,036
資 産 違 分 差 額	0	292	12	304	資 產 用 収 入	24,802	6,376	4,395	35,573
微 収 不能引 当 金 繼 入 額	0	307	37	344	雑 収 入	30	5,271	972	6,273
					総 届 収 入 計	490,272	398,309	318,327	1,206,908
消 費 支 出 計	60,733	365,555	277,061	703,349	基 本 金 繼 入 額	△ 716,321	△ 22,139	△ 51,878	△ 790,338
消 費 収 支 差 額	△ 286,782	10,615	△ 10,612	△ 286,779	消 費 収 入 計	△ 226,049	376,170	266,449	416,570

聖隸学園の歴史

3面よりのつづき

近隣農村の子女、各地から聖に働き人として集った女子、員の子女に高等学校教育を授ける学校となりました。其產生をしていた当時の聖隸保養農では長谷川理事長や鳥居恵一氏御子様もこの学園に学ばれました。学制改革による混乱もありましたが、高校進学の経済的盤は容易に誰にもあったわけではありません。そんな中で福音先生はこの子らに精一杯割り出した。聖書の授業なども先生御自身でなさらず牧師に託されました。先生の学者として教育者としての姿勢があらわれかと拝いたします。

しかし生徒一人一人に対しは父のきびしさと慈愛とを同じ豊かにお持ちであります。○子、○男と呼びすてになされた。先生には、ごく自然に御身の子供への様な親愛の心があふれておりました。朝は毎日よく掃除の時は生徒と一緒に雑巾がけをなさり、広い校はいつもビカビカに光ってスリパなど用いませんでした。後ろ真似をして雑巾がけをしていました。「先生、そんな雑巾をしていると福原先生にオコられるよ、ヒザをついて、手のひらに両方に伸ばし、直角カドをつけて下ろすんだヨ」とわたくしは今でも生徒にその文化は便所の清潔さではかる」と先生のお字で書かれたがはつてありました。その壁に「まこれを教えることがありますお手洗いなどは最も清潔に保れていました。その壁に「二の文化は便所の清潔さではかる」と先生のお字で書かれたがはつてありました。全くのの場所、トイレの清潔に貢持つという事は人間の主体確立の根本と考えられたと思

聖隸學園の歴史

3面よりのつづき

近隣農村の子女、各地から聖隸に働き人として集った女子、職員の子女に高等学校教育を授ける学校となりました。共産生活をしていた当時の聖隸保養農園では長谷川理事長や鳥居恵一氏の御子様もこの学園に学ばれました。学制改革による混乱もありましたが、高校進学の経済的因素は容易に誰にもあつたわけではありません。そんな中で福原先生はこの子らに精一杯割引なしの教育をなさいました。数学は先生自身できたらえられました

が、英語、音楽、美術に至るまで、出来る限りの教科をそなえ、内外に人材を探し出しては用いられました。それも学問的批判に耐えうる内容を要求されました。聖書の授業なども先生御自身でなさらず牧師に託されました。先生の学者として教育者としての姿勢があらわれかと抨察いたします。

しかし生徒一人一人に対しては父のきびしさと慈愛とを同時に豊かにお持ちでありました。

○子、○男と呼びてになさる時の先生には、ごく自然に御自身の子供への様な親愛の心が充ちあふれておりました。躰はしきしく掃除の時は生徒と一緒に雑巾がけをなさり、広い校舎はいつもピカピカに光ってスリッパなど用いませんでした。後日真似をして雑巾がけをしている私に生徒の一人が教えてくれました。「先生、そんな雑巾がけをしていると福原先生にオコられるよ、ヒザをついて、手の巾一ぱいに両方に伸ばし、直角にカドをつけて下ろすんだヨ」と。わたくしは今でも生徒にそのままこれを教えることがあります。お手洗いなどは最も清潔に保たれていました。その壁に「一国の文化は便所の清潔さではかれる」と先生のお字で書かれた紙がはってありました。全くの独りの場所、トイレの清潔に責任を持つという事は人間の主体性を確立の根本と考えられたと思い